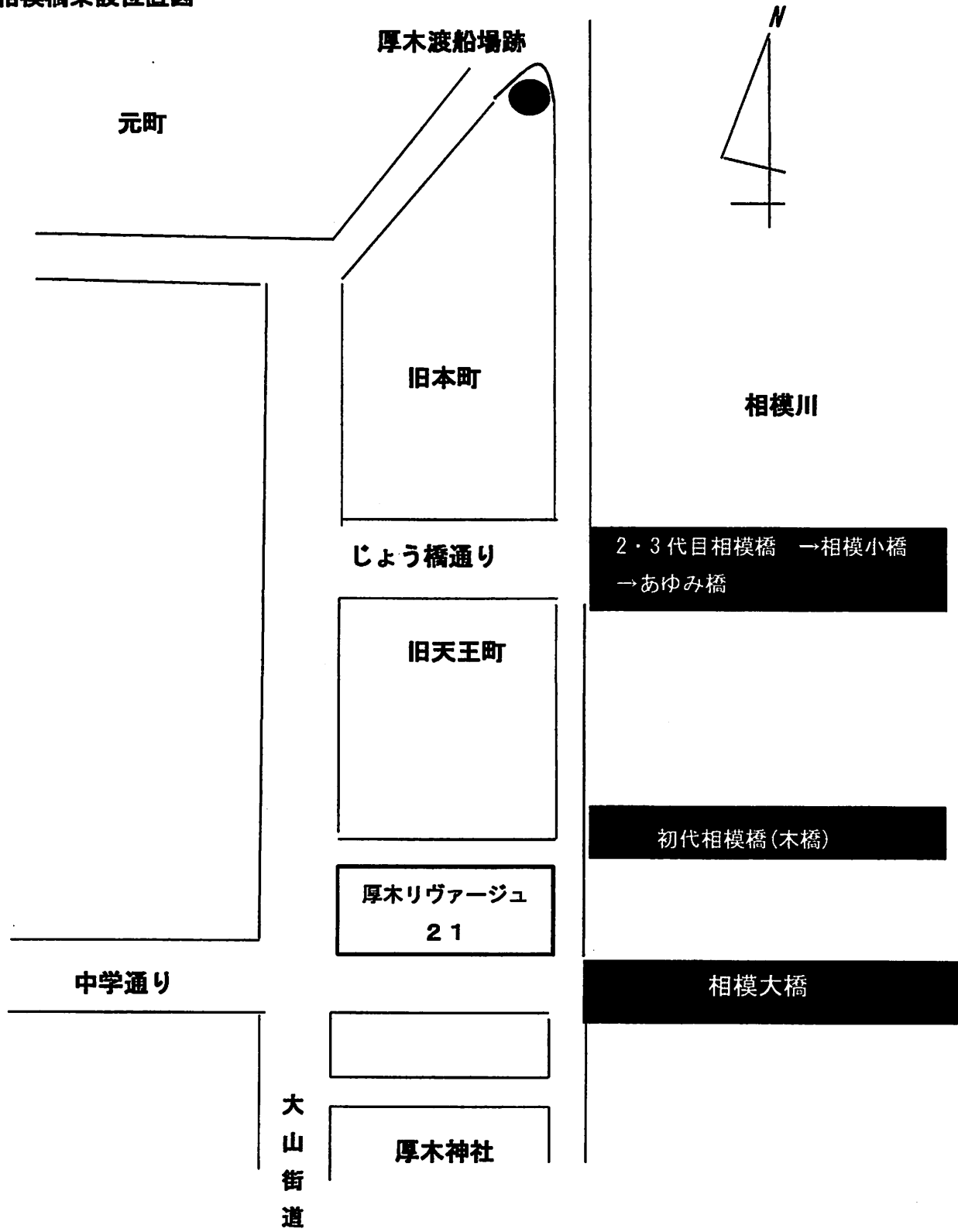


「相模橋」の変遷について

1 沿革

明治41年（1908） 10月26日	初代相模橋開通（木橋）	渡船→地元住民待望の半永久橋完成 （腐食防止の黒塗り塗装の木橋） （延長約240m、幅員約3.6m）
明治43年（1910） 8月10日	初代相模橋の流失	大洪水で流失 → 一時「渡船」復活
大正元年（1912） 12月	2代目相模橋完成 （通称じょう橋）	愛甲郡長国松英太郎氏の奔走もあり早期に県が工事に着手。両端が木橋で中央部分が鋼製「ブラケットトラス橋」
大正12年（1923） 9月1日	関東大震災発生により一部損壊	海老名側木橋部分橋桁落橋、厚木側木橋部分も9月15日の豪雨で流失。中央鋼製部分を残し完全に機能損失
大正15年（1926） 6月	3代目相模橋完成	全面鋼製「ブラケットトラス橋」幅員約5m ※ 平山橋（愛川町田代）と形状類似
昭和2年（1927） 4月	小田急開通	交通事情激変し、相模厚木駅（現本厚木駅）開業に伴い、相模橋周辺を中心とした都市形成から徐々に駅を中心とした都市形成に移行。
昭和30年（1955） 6月13日	相模大橋開通	戦後、相模川の砂利乱掘により河床が低下し、相模橋の基礎杭が露出し、老朽化により下流に相模大橋架設。
昭和39年（1964）～	3代目相模橋解体・撤去工事	相模大橋開通 → 管理が県から厚木市と海老名町へ移管 →自動車、馬の通行禁止 → 昭和38年全面通行止め →地元の人から惜しまれながら解体・撤去

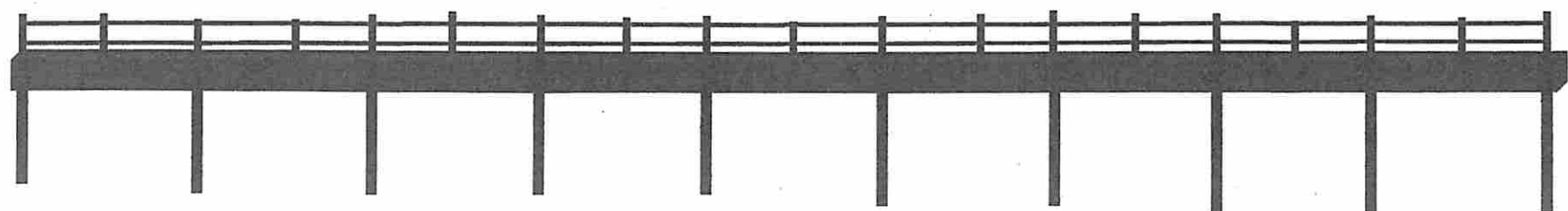
歴代相模橋架設位置図



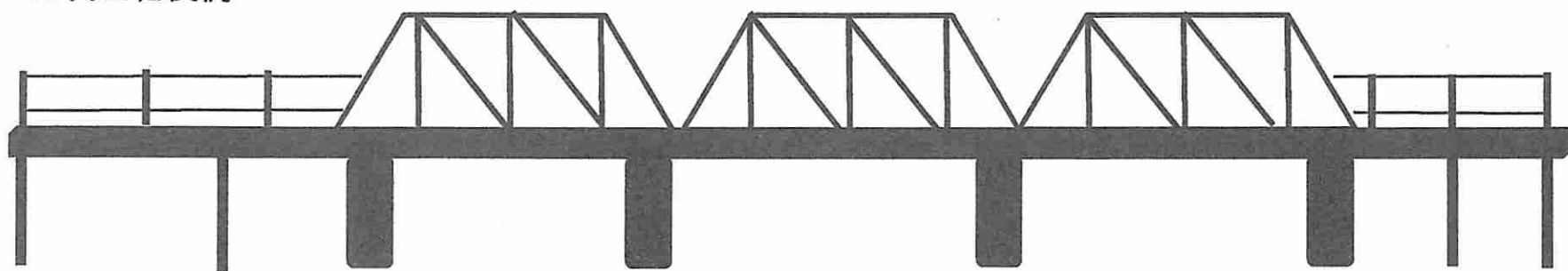
初代相模橋

海老名側

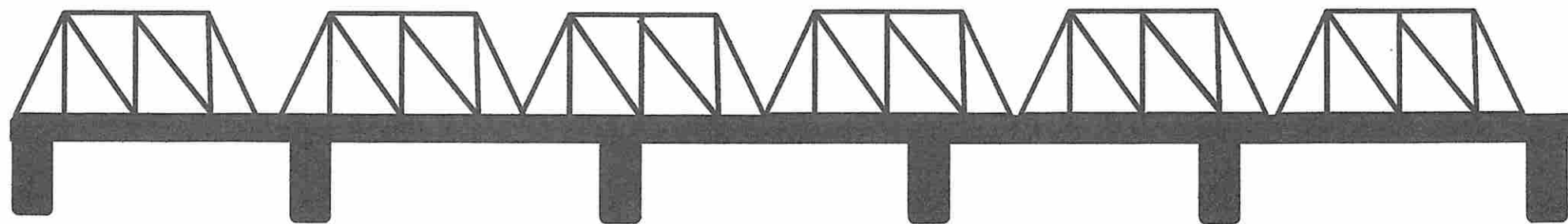
厚木側



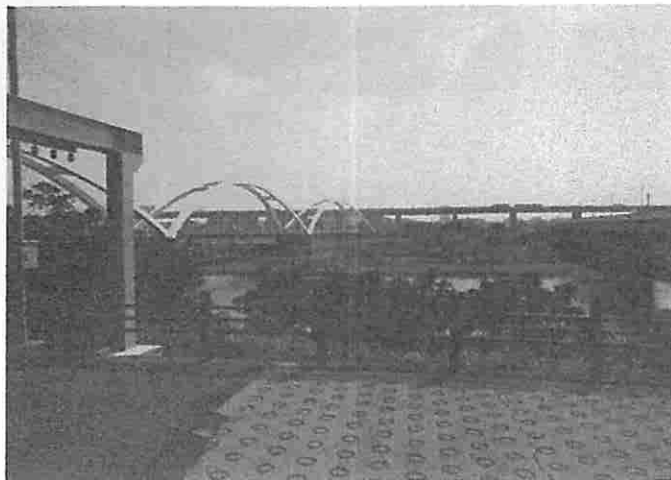
二代目相模橋



三代目相模橋



相模橋関係写真



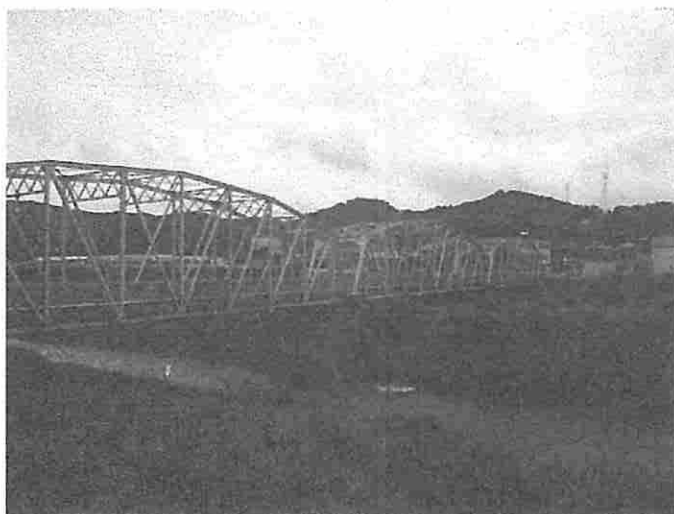
当初木橋が架けられた場所推定
厚木リヴァージュ21の北側



あゆみ橋



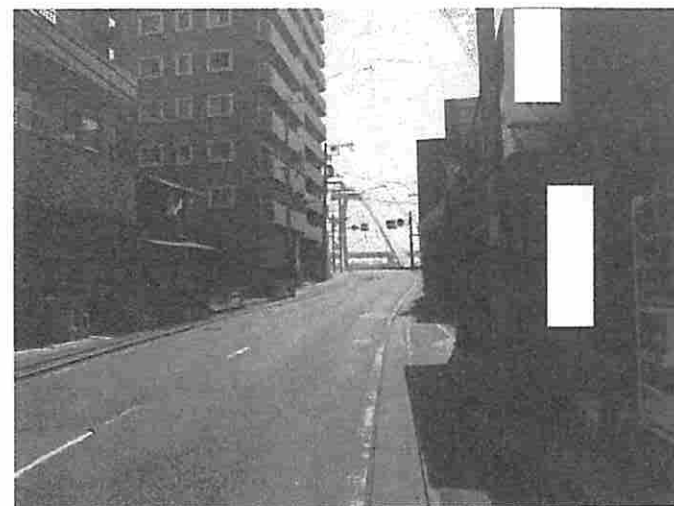
じょう橋標柱



平山橋



横須賀水道上郷水道管橋



じょう橋どおり